認定介護福祉士養成研修

科目『認知症のある人への生活支援・連携』事前課題Ｎｏ．２

【事前課題の内容】
「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」アセスメントシート（16枚）のねらい及び特徴をテキスト等で確認する。

【事前課題のねらい】
「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」アセスメントシート（16枚）を活用して、認知症のある人のニーズを明らかにし、必要となる支援を計画・コーディネートできるようになる。

【事前課題の方法】
＜事前提出するもの＞
※ 事前課題２では、事前に提出するものはありません。
＜留意事項＞
・テキストP167～172と認知症介護情報ネットワーク（DCnet）＞研修情報＞センター方式＞センター方式シート集を参考にして、事前課題に取り組んで下さい。

【センター方式の説明】
＊センター方式は、認知症の人のケアマネジメントとして日本で初めて開発されたものです。完成された当時は、「認知症ケアの切り札」とも言われましたが、残念ながら介護現場では広く浸透するまでには至りませんでした。この間多くの認知症に関するアセスメントシート等が開発されてきましたが、個人的には、最も優れたアセスメントシートと思います。実際の介護現場では、16 枚すべてのアセスメントシートを埋める必要はありません。必要と思われるアセスメントシートだけ記入することで良かったのですが、すべてのアセスメントシートを埋めなければならないという思い込みが強かったためか介護現場では浸透しませんでした。今回の研修では、「ひもときシート」「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」の事前課題を踏まえて、最終的に個別援助計画まで作成してもらうことを予定しています。そのことを踏まえて、事前課題の内容に取り組んで下さい。